

CIREn 電気化学研究分科会 2020年度 第2回講演会

2020年12月18日(金) 13:00～15:00

主催： CIREn 電気化学研究分科会
共催： 佐賀大学肥前セラミック研究センター

場所： Web 配信 (Webex を利用予定)
後日、参加者のみに詳細をご連絡いたします

内容： (講演の演題と概要は次頁をご覧ください)

CIREn 電気化学研究分科会の紹介

(電気化学研究分科会座長 富永昌人)

講演1 PEFC 用酸化物担体の開発

～カーボンフリーと高温作動を目指して～

(宮崎大学 酒井剛)

講演2 電気透析による効率的 CO₂ 分離回収とその可能性

(九州大学 谷口育雄)

フリーディスカッション

参加をご希望の方は、12月15日(火)までに、参加者の氏名、所属、連絡先を、下記申込先メール宛にお知らせください。本講演会に関するお問い合わせは、下記問い合わせ先までお願いいたします。

申込先

CIREn 事務局

担当：川副 悦子

Tel: 0952-28-8514

Fax: 0952-28-8860

E-mail: info@ciren.jp

問い合わせ先

CIREn 電気化学研究分科会

担当：梅木 辰也

Tel: 0952-28-8555

Fax: 0952-28-8548

E-mail: umecky@cc.saga-u.ac.jp

宮崎大学 酒井 剛

演題「PEFC 用酸化物担体の開発 ～カーボンフリーと高温作動を目指して～」

概要 現在、次世代のエネルギーシステムとして固体高分子形燃料電池(PEFC)が注目されている。PEFC には、カソードの極の酸素還元反応を促進するために白金微粒子を担持させたカーボン(白金担持カーボン)が用いられているが、カーボンの腐食に伴う白金の凝集等による性能低下が問題となっており、安定な担体が求められている。本講演では、PEFC のカーボンフリー化と高温作動化を目指して、カソード電極触媒用酸化物担の開発における我々の研究グループの取組を紹介する。

九州大学 谷口育雄

演題「電気透析による効率的 CO₂ 分離回収とその可能性」

概要 効率的な CO₂ 分離回収法の確立は、二酸化炭素回収・有効利用・貯留技術(CCUS)の実用化に必須である。現在、アミン水溶液を用いた化学吸収法は、実証試験に到達した最も有用な方法であるが、分離回収の所要エネルギーが大きいという致命的な欠点があるが、分離回収の大きな障壁となっている。本講演では、電気透析による省エネルギーCO₂ 分離回収とその可能性について紹介するとともに、CCUS の現状や展望についても合わせて概説する。